

◆ 事務局

建築士定期講習のご案内

会場コード	開催日	会場	定員
3B-04	11月12日(木) (受付中)	高岡文化ホール 高岡市中川園町13-1	100名
3B-05	1月14日(木) (受付中)	新川文化ホール 魚津市宮津110	54名
未定	3月15日(火)	テクノホール 富山市友杉1682	104名

時間:9:20~17:30

受講料:テキスト2冊を含めて12,960円

申込:建築士会事務局(平日9:00~17:00)まで

問合先:建築士会事務局 担当:佐藤

◆ 研修委員会

平成27年度 建築文化講演会開催のご案内

今年度の建築文化講演会を次のとおり開催します。

日時:平成27年9月19日(土)13:30~15:30

場所:黒部市国際文化センター コラーレ(黒部市三日市20)

講師:小玉祐一郎氏(建築家・神戸芸術工科大学教授)

内容:パッシブタウン黒部モデルについて

申込用紙等詳細は建築士会ホームページをご覧ください。

◆ 住宅研究会

第6回勉強会「大工が目指している技能士の試験ってどんな事をしているのか」のほか「大工がプレカットにより物置小屋もできなくなるかも」のお話

日時:平成27年9月16日(水)19:00~20:30

会場:富山県建築設計会館3階会議室(富山市安住町7番1号)

講師:根塚三起生氏(根塚工務店代表)

富山建築職業訓練校校長、大工職種技能検定委員

内容:大工の技能士試験の1,2,3級の現物を見てもらいどんなものを、どのような勉強をして取り組んでいるのかを知ってもらい、今後の大工を育てて行くのは、建築主、設計者、工務店のだれなのかを勉強してみたいと思います。

建築CPD:1単位(CPDカードをお持ち下さい。)

定員:10~15名程度(どなたでも参加できます。)

参加費:会員 無料 会員外 1,000円(資料代を含む)

申込先・申込期限:平成27年7月13日までメール又はファックスで下記まで

(E-mail:yoshi@ku-so.com FAX:0766-30-4370)

問合先:住宅研究会 担当:林

(空創建築計画事務所 TEL:0766-21-8542)

◆ プロフェッション委員会

「宮大工技術講習会(応用編)」のご案内

日時:平成27年9月12日(土)PM6:30~PM8:30

会場:サンシップとやま703号室(富山市安住町5-21)

講師:森 泰造氏(伝統意匠森工房 代表)

内容:木造建築技術の進化と伝承Ⅱ

日本の木造建築は、他に比類を見ない構造と建築美を育み、卓越した加工と架構の技術が進化し、現在に至っているのではないのでしょうか。

2回目の今講座では、木造建築の歴史と規矩術の基本から仕口継手の使い方まで教えて頂きます。

前回受講された方、初めての方も是非受講ください。

建築CPD:2単位(CPDカードをお持ちください。)

定員:先着順30名(どなたでも参加できます。)

参加費:士会会員:500円、会員外は1,000円、学生:200円

申込先:9月10日(木)までメール又はファックスで下記まで

(E-mail:info@housegmen.com FAX 0766-26-1919)

問合先:プロフェッション委員会 担当:中谷

(TEL:090-7087-1082)

◆ 新川支部

「くろベフェア2015」のご案内

日時:9月26日(土)10:00~17:00

9月27日(日)10:00~16:00

会場:黒部市総合体育センター

内容:新川支部では、「建築廃材でアクセサリ作り」のテーマでブースを出展します。建築時に残った廃材ベニヤを利用して、子供たちに、好みのキャラクターアクセサリを作り建築にふれあってもらおう趣旨で行います。毎年好評で、是非一度、会場にお越しください。

参加者:どなたでも参加できます。

参加費:無料

問合先:新川支部事務局(TEL:0765-52-4510)

◆ 高岡支部 女性委員会

インテリアデザインセミナー 開催のご案内

日時:平成27年9月30日(水)18:30~20:30(受付18:15~)

会場:ウィングウィング高岡 研修室503

(高岡市末広町1番8号 TEL0766-22-0044)

講師:川原 隆邦氏(蛭谷和紙作家)

演題:現代の建築と和紙

内容:現代の建築での新しい和紙の取り入れ方を、実際に作品などを手に取りながらお話を伺います。また、和紙を使った体験もあります。

建築CPD:2単位の申請予定(CPDカードをお持ち下さい。)

定員:先着順45名(どなたでも参加できます。)

参加費:会員 無料 会員外 1,000円 学生 無料 (体験材料代を含む)

申込先・申込期限:平成27年9月25日までメール又はファックスで下記まで氏名、会員or一般or学生、所属(支部、勤務先、学校名等)、連絡先をご連絡下さい。

建築士会高岡支部事務局(大角亮建築研究所内)

TEL:0766-22-9081 FAX:0766-25-7020  
 Email:takaoka-shibu@toyama-kenchikushikai.or.jp  
 問合せ:建築士会高岡支部女性委員会 宮西慶子  
 TEL:090-8268-7261

◆ 富山支部

「金沢の現代建築と百万石の庭園の見学そして  
 \*加賀料理を味わう見学会」

\*加賀料理についてはオプションとなります

日時:平成27年10月30日(金)

集合場所:9:30-金沢駅西口(金沢までは、各自で集合願います)

解散場所:12:30(オプションの昼食なし)-金沢駅近く

14:30(玉泉邸昼食付)-金沢駅西口

見学先:金沢海みらい図書館(シーラカンス K&H)

辻家庭園(加賀百万石前田家老大名屋敷、旧横山家)

\*オプション 玉泉邸(前田藩重臣脇田家の幻の玉潤様式庭園・加賀料理)

参加費:建築士会会員:1,500円(入園料、バス代)

会員以外:2,500円(入園料、バス代)

なお、\*オプションの玉泉邸加賀料理については、別途4,200円プラスとなります。(玉泉邸については、見学のみでは受け付けていません)

定員:先着30名(どなたでも参加できます。)

問合せ:富山支部・小泉まで

TEL:076-425-2077 / Mail:mi621mi117@yahoo.co.jp

申込:名前・所属支部・連絡先(携帯等)・オプション参加、不参加を記入し FAX:076-461-5328 または Mail:iino@enkel-h.jp 飯野まで(富山県建築士会ホームページのお知らせチラシ案内・申込書もご利用ください)



◆ 富山県建築士事務所協会

「四会連合協定「建築設計・監理業務委託契約書説明会」のご案内

日時:平成27年9月28日(月) 14:00~16:00

会場:富山産業展示館(テクノホール) 富山市友杉1682

内容:改正建築士法の施行に伴い、「書類による契約の義務化」は発注者にも理解を求めていく上で大変重要なこととなりました。新たに改訂された契約書類の内容や記載方法等について、問合せが多いことから本説明会を開催いたします。

講師:四会連合 建築設計業務等の契約内容検討会 主査 後藤 伸一 氏(ゴウ総合計画株式会社)

受講料:建築士事務所協会会員 1,500円/人(税込)

その他 4,500円/人(税込)

送料代:設計受託契約等のポイント 1,300円/人(税込)

CPD単位:2単位

問合せ・申込先:一般社団法人 富山県建築士事務所協会

TEL:076-442-1135 FAX:076-442-1180

詳細は、富山県建築士事務所協会 HP 参照

「2015年版 建築物の構造関係技術基準解説書」DVD講習会のご案内

日時:平成27年10月14日(水) 9:30~16:40

会場:富山県教育文化会館 1階集会室 富山市舟橋北町7-1

内容:(一財)建築行政情報センター及び(一財)日本建築防災協会により全国各地で「2015年版建築物の構造関係技術基準解説書」講習会が開催されましたが、定員超過で受講できなかった方が多かったため、この対応として両団体は、国土交通省国土技術政策総合研究所及び国立研究開発法人建築研究所の協力を得て講習会のDVDを作成しました。

本講習会はこのDVDの提供を受けて開催されるものです。

講師:改訂版の編集委員

受講料:建築士事務所協会・建築士会会員 3,240円/人(税込)

その他 6,480円/人(税込)

送料代:2015年版建築物の構造関係技術基準解説書 8,640円/人(税込)

CPD単位:5単位

問合せ・申込先:一般社団法人 富山県建築士事務所協会

TEL:076-442-1135 FAX:076-442-1180

詳細は、富山県建築士事務所協会 HP 参照

◆ 富山県木造住宅生産体制強化推進協議会

富山県住宅省エネルギー技術講習会(国の補助事業)のご案内

開催日・開催場所 (半日講習になりました)

	開催日	会場	定員
施工	9月9日(水)	ありそドーム	60名
	10月6日(火)	ホクリク住材(株)	48名
	11月6日(金)	砺波まなび交流館	60名
	12月12日(土)	ヤマイチ(株)	30名
	H28年1月8日(金)	南陽(株)	60名
	H28年2月6日(土)	ヤマイチ(株)	30名
設計	9月30日(水)	テクノホール	100名
	11月27日(金)	高岡文化ホール	100名
	H28年1月15日(金)	テクノホール	100名

時間:13:00~17:35

詳しくは富山県建築士会のホームページをご覧ください。

◆ JIA 富山地域会

「TOYAMA」キラリ建物見学とそれぞれの立場で携られた方々による鼎談

日時:平成27年10月3日(土)14:30~17:00(14:00受付開始)

会場:「TOYAMA」キラリ(富山市西町5番1号)

(旧富山大和跡地の再開発ビル)

講師:渋谷良治 氏(富山市ガラス美術館館長)、齋田武亨氏(限研吾建築都市設計事務所、谷口弘蔵氏(清水建設株式会社))

内容:・「TOYAMA」キラリの建物見学

・「TOYAMA」キラリの関係者による鼎談

建築CPD:2単位予定(CPDカードをお持ち下さい。)

定員:先着順60名(どなたでも参加できます。)

参加費:無料(懇親会は別途費用が必要になります)

申込方法:JIA 北陸支部富山地域会のホームページに近日掲載予定の申込フォームをご利用ください。

申込期限:平成27年9月25日

問合せ:JIA 北陸支部富山地域会 矢後 迄

(TEL:076-433-0345)

# とやま「青年建築志」のつどい

青年委員会



平成 27 年 6 月 27 日（土）富山県民会館にて、「とやま『青年建築志』のつどい」を開催しました。

青年建築志はさまざまな業種形成を成しており個々の日常業務也多岐に分かれます。これからの富山の建築を担う青年建築志（建築士や建築工事に関わる技能者の青年層）が集い、仕事におけるスキルアップを図るとともに、交流を深めてネットワークを形成していく場にしたいと考えています。



行政・地盤・設計・サッシ・設備などを業務とする 6 名の士会員から活動報告会として日常業務を報告してもらい、会員同士または他団体の方々とも情報交換・意見交換を図り交流を深めました。



各報告に対して質疑応答を行い和気あいあいとした雰囲気で見聞交換が交わされ笑顔が溢れる場面もありました。疑問点の共有もでき、各自の仕事分野でも活かせる内容を持ちかえることができた事業でした。



## とやま「青年建築志」のつどい 参加の様子

「青年建築志」による建築を志す士会員の日常業務は自身の業務と違うこともあり、興味深く参加者は聞いていました。また、疑問はその場で解決できたことは大変有意義でした。

参加人数

34 名



### 熱い活動報告

自分の日常業務をプロジェクター等を使って報告しています。



### 活発な質疑

こんなときはどのようにしているか？等、たくさんの質疑が交わされました。



### 懇親会にて

多業種が集まると会話の内容も濃く面白いです。最後にパシッ。

## 多業種が参加する「青年建築志」の集まりを活用して自己知識を高めたい。

高い意識で仕事に取り組んでいる青年層が集う「青年建築志」は、他業種にわたる集まりです。参加者からは、現在進行中の物件に関する話題提供があったり、社会情勢を踏まえた建材・工法選択についての情報交換があったりと、今後の仕事においても相談・協力しあえるネットワークが構築できました。

| 青年委員会・新川支部 | 伊田 直樹 |

# 「木造化推進と新たな構造部材」2015 (第1回)

高岡支部

平成 27 年 7 月 18 日(土) 高岡市能町の南陽デザインスタジオ高岡にて「木造化推進と新たな構造部材」2015 セミナーの第 1 回目が開催されました。参加者は 19 名でした。

講師は(株)アルファフォーラムの小林社長で、木材利用システム研究会(会長:東京大学/井上准教授)の常任理事です。

今回のセミナーは主に「木の利用法」ということで、先月のレポートネットでもご紹介されているような森林・林業の実情を、日本と外国での比較

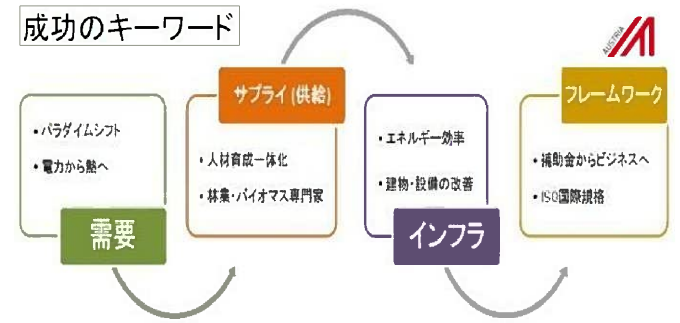


ということから始まります。比較対象となったのは欧州のオーストリア。日本と同じように傾斜山林の多い国です

が、驚いたのは ①生産性の高さ ②人材教育・育成のプログラム ③バイオマス熱供給事業の普及 です。

日本でも使われているハーベスタやグラブプルなどの機械は当たり前。ただし 1 立米あたりの伐採+加工が 0.5 時間以内という圧倒的な生産性の高さ、14 歳から木材マイスターへの教育システムが出来上がっている点、熱供給施設は全国 1,200 ヶ所以上で小規模の供給システムが多いという点など、建築物個別の設備ばかりを考えてきた私たちには初耳の内容でした。

後半はバイオマス熱供給事業についての説明で、福井県の「あわら三国もりもりバイオマス」の例をご紹介いただきました。Web ページもあります。http://morimori-biomass.jp/ 山主+森林組合+エネルギー供給業+使用者(温泉旅館等)が川上+川下一体となって進めておられる事業は山の資源を徹底して使いきることが結果として低炭素社会や Co2 の削減(カーボンオフセット)になるという、目からウロコのお話でした。



今回のセミナーは、建築に関わる我々に大きな思考の枠の転換が必要だという事を迫っている! などと書くと大げさですが、実際は建築物単体という世界から、地域や循環型社会を形成するという大きな枠で物事を見ることが次の時代のビジネスチャンスをつかむということに気付かされました。私たち建築士会の綱領である「われわれ建築士は社会の発展のための最新の指導者たるべし」を忘れてはいけませんね。

## セミナー参加者の様子

○木 = 製材品という狭義の木材利用しか考えていなかったが、実は木材にはもっと利用価値があることを再認識した。(Y)

○現行の個別(重油/灯油)ボイラー+バイオマス地域熱供給でまかなう事業というのはとてもユニーク。(N)



### 木材のカスケード利用

木材は製材品=建築素材だけではなく、紙やエネルギー等様々に利用できます。



### 会場の様子

材料としての木材から、利用価値を迫及する深掘り・・・難しい? 中央最前列が中野会長

- ・ 木造住宅 ↓
- ・ 非住宅木造建築物 ↑
- ・ ゼロエネルギー、低炭素建築物の提案
- ・ 省エネルギー基準法の義務化(2020年までに)
- ・ = 設備も含めた提案力が求められる
- ・ ∴ 木質バイオマスエネルギー利用を含め

ビジネスチャンスは大きい

### 新たなビジネスチャンス?

設備から考える建築物。太陽光発電に次ぐエネルギー供給事業者が登場するかも・・・

## リポーターの感想

建築物に関わる我々が考える木材というものは、構造的な部品や装飾的な部品という意味が一般的だと思いますが、環境への貢献と循環型社会の創造という視点で山の資源をどこまで使い切るか、そのための計画を作ることが建築士の新たな役割ではないかという気さえしました。

| 高岡支部・まちづくり委員会 | 巻瀧 忍 |